

2023年度 宝塚市立末広小学校3年生環境体験学習報告書

「生き物つながり探検隊」～武庫川河原の生き物調査～

記録・吉田小恵子

日時	2023年9月5日(火) 午前9:30～11:50
場所	武庫川河原
目的	身近な武庫川に生息する生き物を調査し、川の中にもいろいろな生き物が棲んでいることを知る
児童	末広小学校3年生 1組21名 担任中島先生 2組21名 松岡先生 他2名
MNC スタッフ	総括;村上 川の生き物指導;木村(俊) 小山 高山 樋口 吉田 軸屋 笠間 坂本 撫坂 溝部 八尋 詠田 木茂 14名
スケジュール	<p>9:10 MNC スタッフ 末広小学校(西門)校門前に集合</p> <p>9:30 児童朝礼台前に集合 はじめのあいさつ 先生・村上</p> <p>9:40 出発(武庫川河原へ)</p> <p>9:50 武庫川河原到着 学習の目的・諸注意 先生・木村(俊)</p> <p>10:10 川に入り生きものの捕獲・観察開始 各班担当者</p> <p>10:50 観察・採取終了・学習まとめ・感想発表 先生・木村(俊)・村上</p> <p>11:30 学校へ向け出発 先生</p> <p>11:50 学校到着・あいさつ・解散 先生</p>
経過・状況	<p>末広小は、今年度「生き物つながり探検隊」第1回目です。末広小は川のそばなので、川に入るための靴をはいて集合しました。簡単に目的を説明して出発です。ものの5分で河原到着。前もって3人の先発組が白いテープを張って、安全に入れるところを示してあります。網の使い方、魚の捕まえ方、石の裏に潜む生き物など、ポイントを木村さんから説明して、いよいよ川へ入ります。藻のはえた石は滑るので気を付けて。</p> <p>最初は恐る恐る、次第に大胆になって、素早く動き回る小さな魚たちを追いかけます。直にあちこちで「ゲット!!」の音が響きました。このポイントは中州で本流から分けられた小さな流れがあって、小魚が群れを成して泳いでいます。動きが早くて簡単には捕まってくれませんが、捕まえた喜びは大きい。各班のバットにじわじわと魚が増えていきました。9月に入っているのでヤゴは少なめ。すぐ弱って横たわってしまうのはオイカワ。でも、白いからだは太陽の光でピカッと光ってとてもきれいです。</p> <p>ほぼ30分して暑さも考慮して採取終了の合図が出ました。「まだ入りたい!」という声はありましたが、収穫を観察・確認します。各自持っていたハンドブックを見たり、木村さんに教えてもらったりして、それぞれの名前を確認しました。生きものはすべて元の場所へ戻るのがルールです。みんなで放流して学校へ戻りました。</p>
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてなのでわくわくしていた。いっぱい捕まえられてうれしかった。</li> <li>・思ったよりいっぱいいた。 ・オイカワとか知らなかったのを知れてよかった。</li> <li>・ヤゴがいてうれしかった。 ・おなかに卵がいるエビをつかまえた。</li> <li>・いっつも取れなくて残念だった。 ・何回もこけて濡れてしまった。</li> </ul>
雑感	<p>天気予報の曇りは裏切られて抜けるような青空。でも、水は冷たく足を入れると汗が引きます。この場所は流れもあり、水も澄んできれい。種類は多いとは言えませんでした。数は多く、魚を網ですくうという貴重な体験ができたと思います。ハンドブックを手に、バットの周りに集まってみんなで調べることはフィールドでこそできるもの。大事な体験だと思います。</p>

# 《見つかった生き物たち》

カワヨシノボリ・オイカワ・ドンコ・モノアラガイのなかま・スジエビ・ミナミヌマエビ・ヤゴ (サナエトンボ・シオカラトンボ)・カゲロウの幼虫・ヒゲナガカワトビケラ・ナミアメンボ・ミズムシのなかま



河川敷到着



注意聞いてね



さあ行くよ



初めはおそろおそろ



こっちの流れはどうか



捕まえたかな



抜けるような青空。あつっ！



班ごとに観察



ハンドブックと見比べて



カワヨシノボリ。エビもいる



オイカワはすぐ弱ってしまう



モノアラガイかな



木村さんのお話



生き物は川へ返します



学校で。楽しかった人 は〜い